

産業廃棄物処理計画書

令和4(2022)年6月23日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 静岡県富士市宮島973番地

氏名 ポリプラスチックス株式会社 富士工場

執行役員 富士工場長 真田 祥 司

電話番号 0545-61-5800

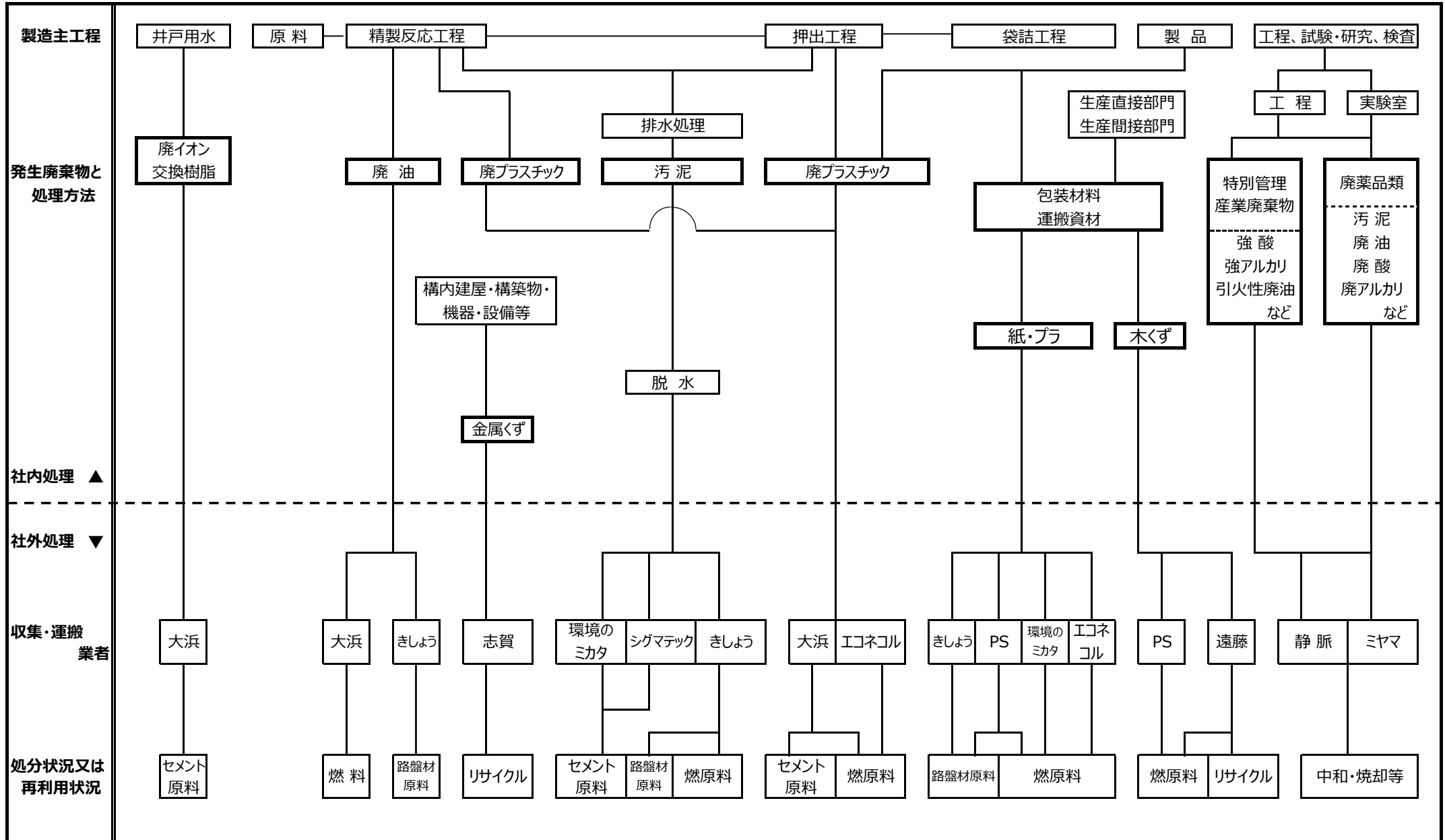
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ポリプラスチックス株式会社 富士工場
事業場の所在地	静岡県富士市宮島973番地
計画期間	令和4(2022)年4月1日 ~ 令和5(2023)年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業(プラスチック製品製造業)
② 事業の規模	出荷額 643億円 <令和3(2021)年4月 ~ 令和4(2022)年3月>
③ 従業員数	富士地区事業所 632名 (含: 正社員以外 84名) [令和4(2022)年4月1日現在]
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 産廃フローシートの通り

産業廃棄物 全体フロー



製造主工程

発生廃棄物と
処理方法

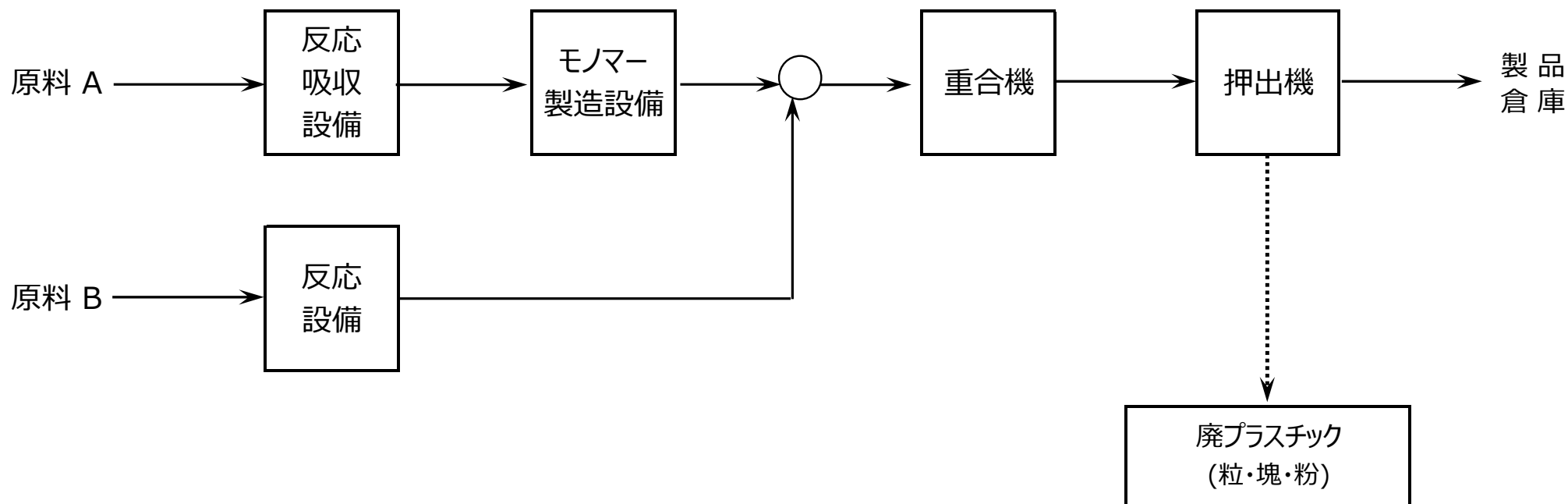
社内処理 ▲

社外処理 ▼

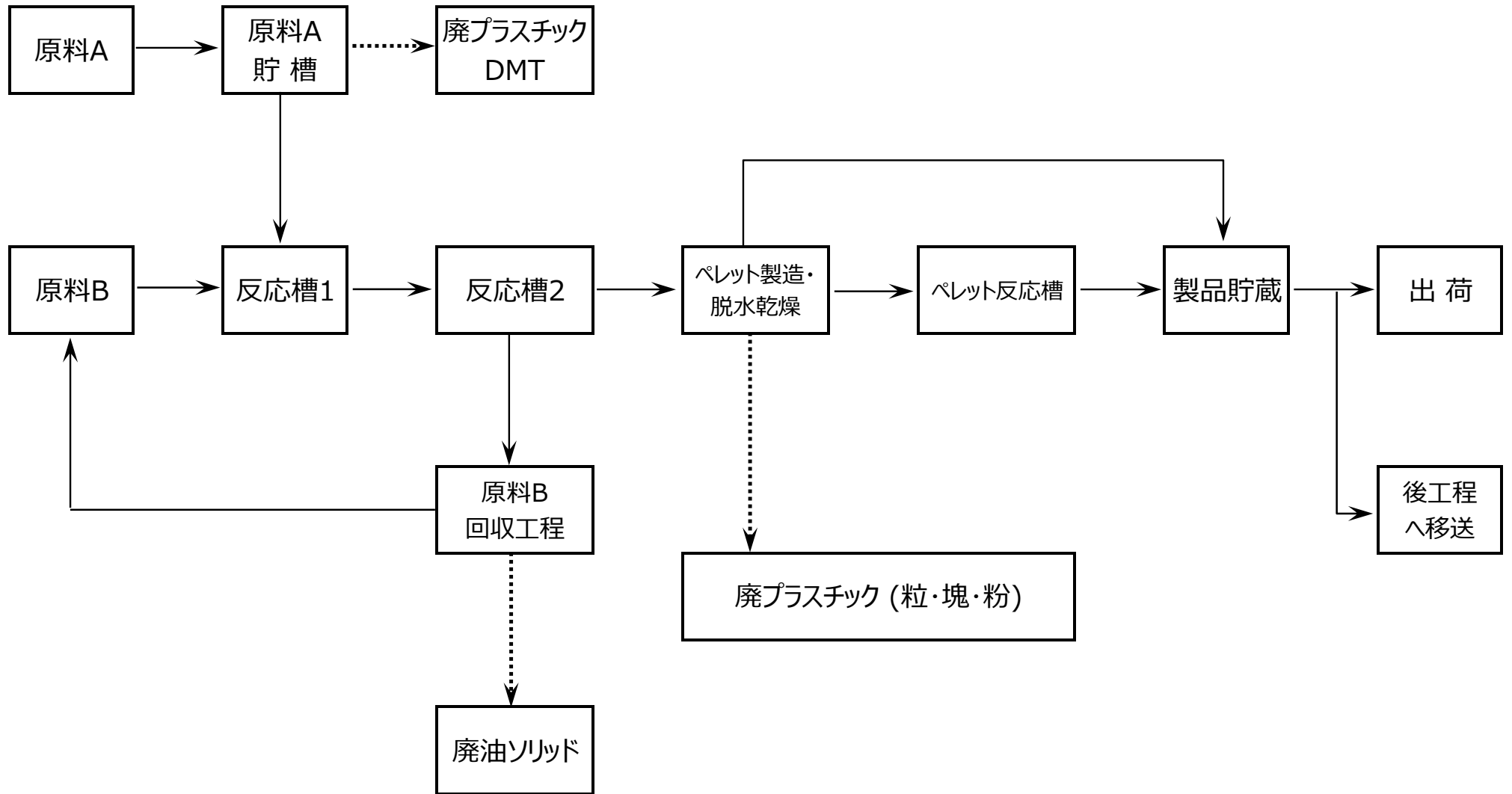
収集・運搬
業者

処分状況又は
再利用状況

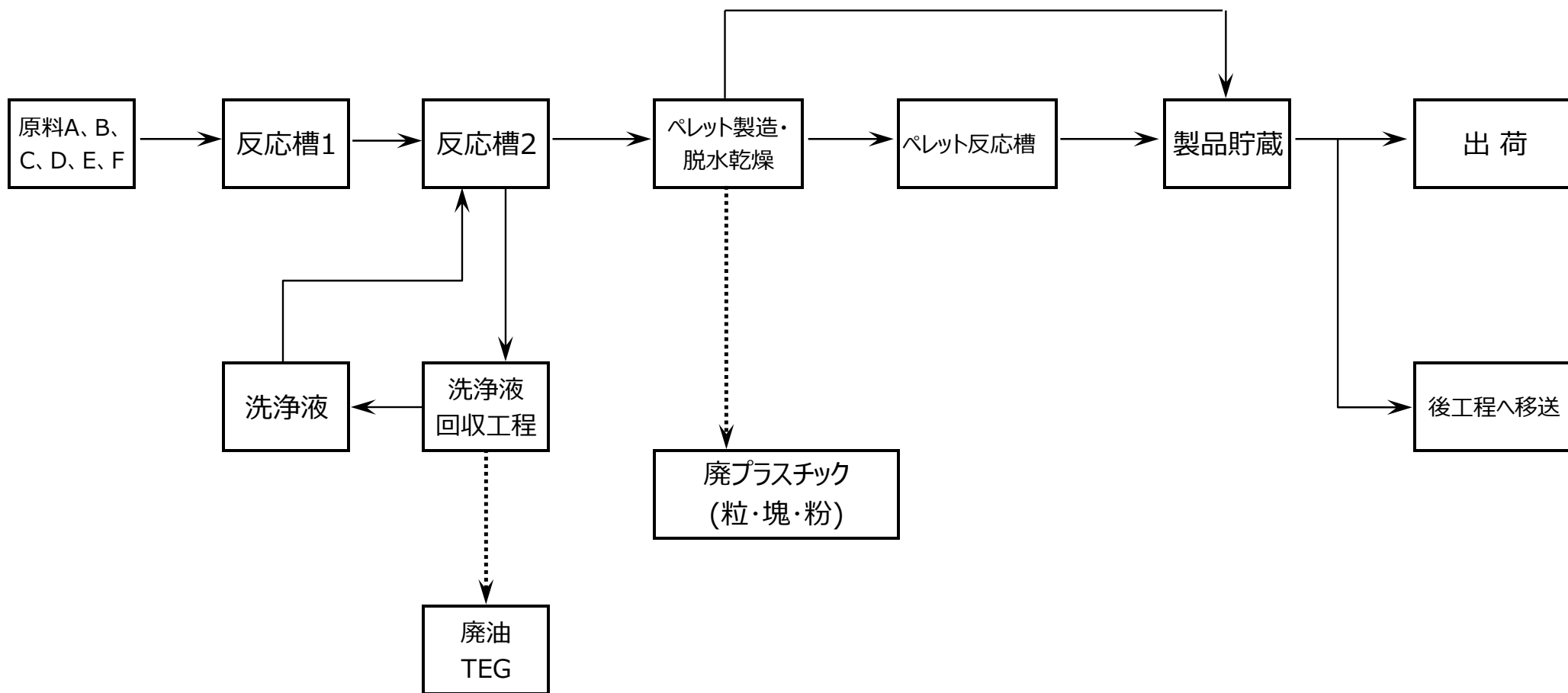
POM樹脂フロー



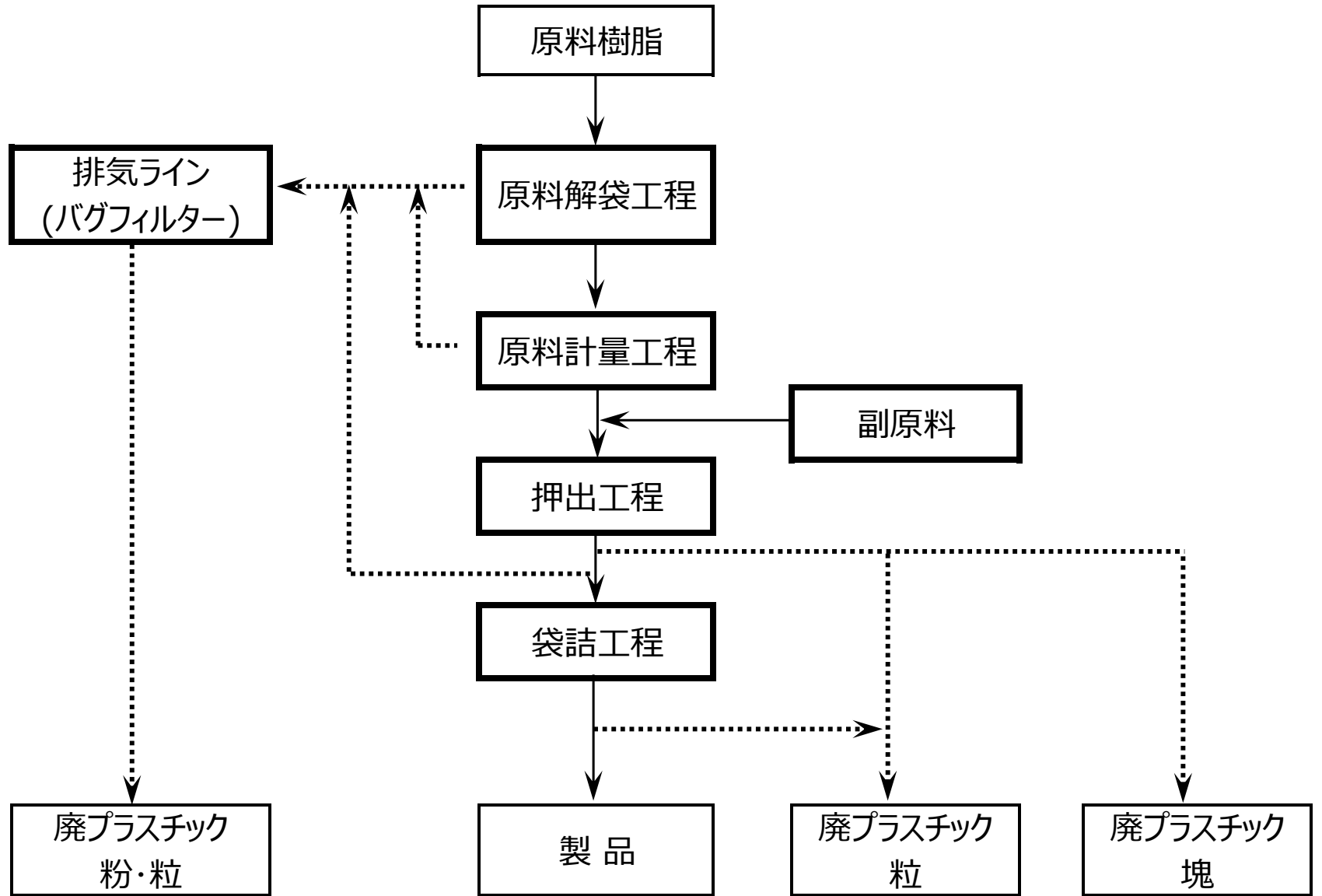
PBT樹脂製造(重合)フロー



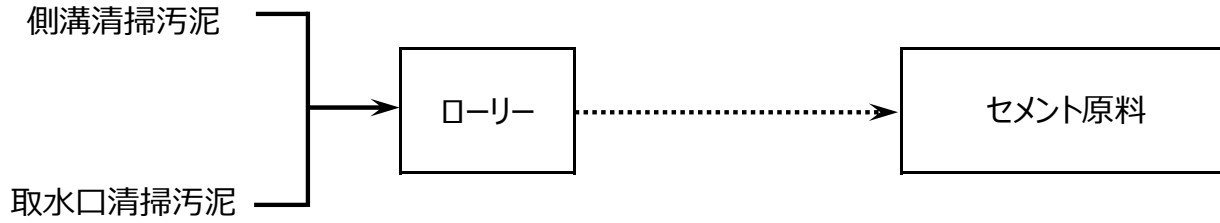
LCP樹脂製造（重合）フロー



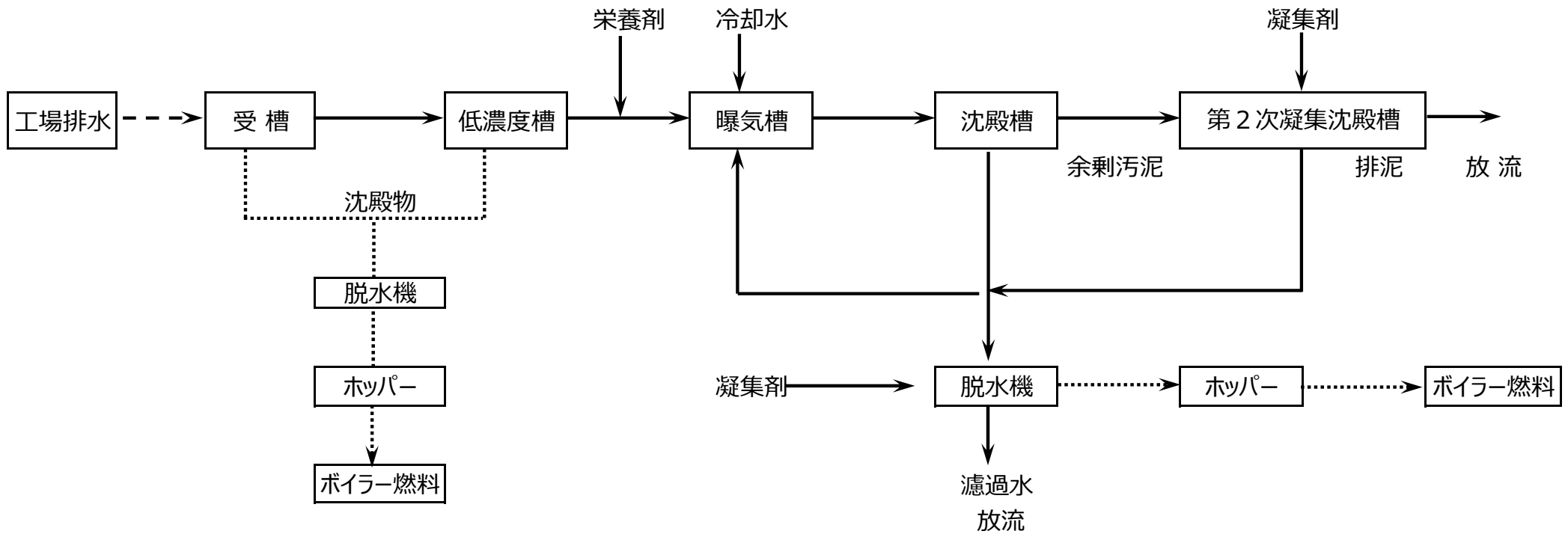
コンパウンドフロー



汚泥(東用地)フロー



汚泥(排水処理)フロー



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「別紙-1」のとおり

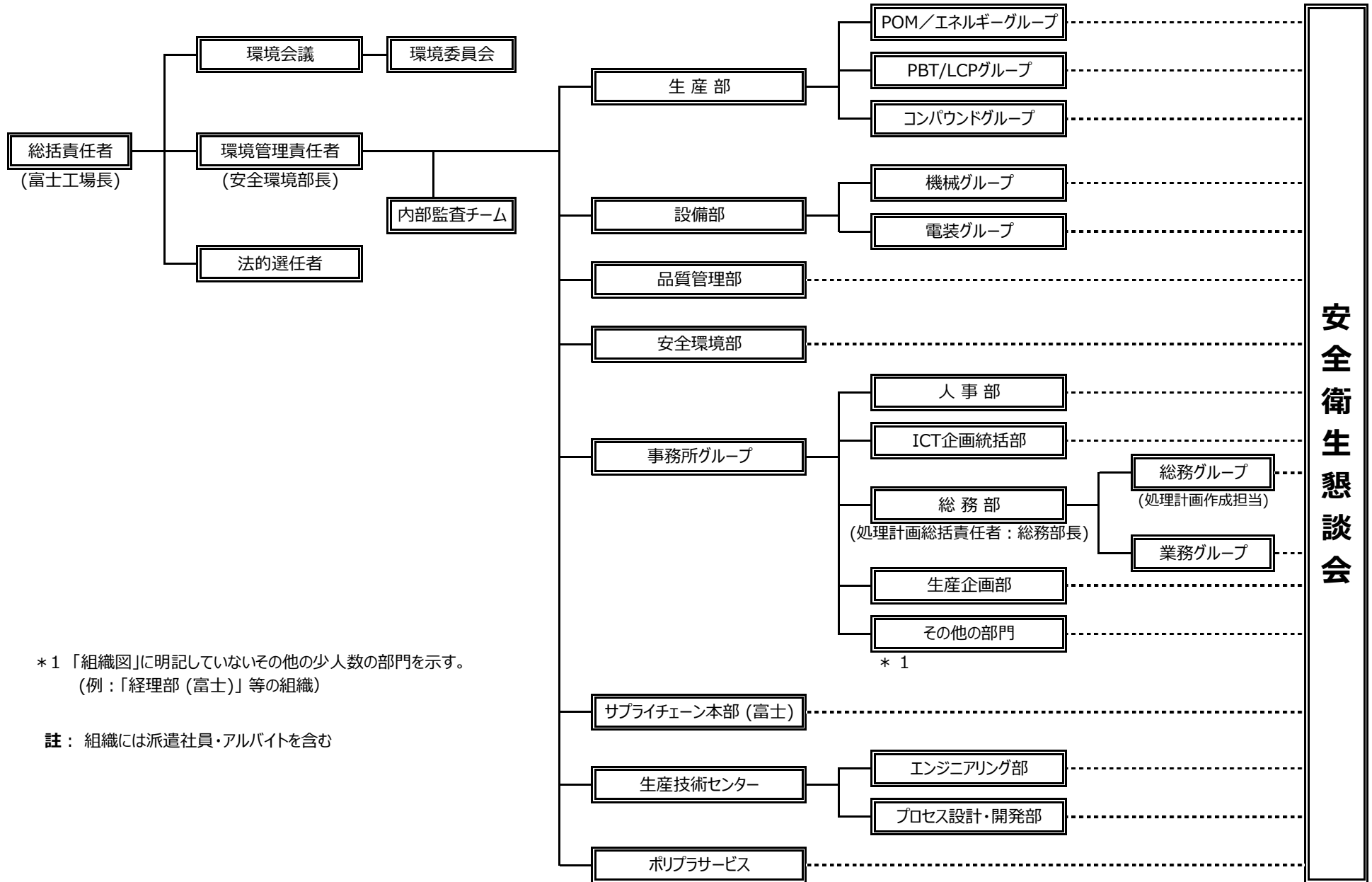
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙-2① のとおり

① 現状	【前年度 令和 3 (2021) 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙-2② のとおり

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

環境マネジメントシステム運用組織図



安全衛生懇談会

* 1 「組織図」に明記していないその他の少人数の部門を示す。
(例：「経理部 (富士)」等の組織)

註：組織には派遣社員・アルバイトを含む

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状			② 計画	
産業廃棄物の種類	排出量	これまでに実施した取組	排出量	今後実施する予定の取組
1 汚泥	2,703.5	安定操業による排出量の抑制／自社設備による脱水・減容化を図り、排出量の削減を継続。 (生産増による排出量増／地震・落雷による停電・電圧降下によるプラント停止により排出量増)	3,044.5	自社設備を使用した脱水・減容化を継続し、排出量の削減・抑制に努める。 (生産増による排出量増加を想定) [自然災害・電力供給不足等による停電・瞬停等が生じた場合、汚泥処理の負荷が高じて交換頻度・排出量が更に増加]
2 廃油	25.6	廃油への異物・異種、水分等の混入防止、再生使用／廃棄の分別を行い、再生資源化を図っている。	27.0	廃油への異物・異種、水分等の混入防止、再生使用／廃棄の分別を行い、継続して再生資源化に努める。 (生産増により排出量の増加が予想される)
3 廃酸	13.2	安定操業による排出量抑制／試験研究の効率化。 (定期修理に伴う槽清掃廃液による増)	0.3	安定操業による排出量を抑制すると共に、効率的な試験研究に努める。
4 廃アルカリ	—	排出は極く稀のため、排出抑制の取組みは特に実施していない。	0.1	効率的な試験研究に努める一方、排出は極く稀のため抑制の取組みは特に実施しない。
5 廃プラスチック類	647.7	安定操業による排出量の抑制 およびリサイクル化の継続。 (生産増による排出量増／地震・落雷による停電・電圧降下によるプラント停止により排出量増)	698.3	排出量の抑制 およびリサイクル化の継続。 (生産増による排出量増加を想定) [自然災害・電力供給不足等による停電・瞬停等が生じた場合、汚排出量が更に増加]
6 木くず	93.1	樹脂パレットへの転換。	92.0	樹脂パレットへの転換の継続。
7 金属くず	44.7	金属屑の分別、再生利用化。 (プラント増設に伴う既設設備解体に伴い排出量)	39.1	金属屑の分別、再利用化への継続に努める。
8 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2.8	排出は極く稀のため、排出抑制の取組みは特に実施していない。	2.8	排出は極く稀のため抑制の取組みは特に実施しない。

		産業廃棄物の分別に関する事項	
産業廃棄物の種類		① 現状	② 計画
1	汚泥	特になし	同左
2	廃油	精製再生用途向と産廃処分用途向との分別徹底	同左
3	廃酸	特になし	同左
4	廃アルカリ	特になし	同左
5	廃プラスチック類	* リサイクル向／産廃物の分別徹底 * 金属付着廃プラスチック類の分別徹底 * PE内封紙袋の分離によるリサイクル／廃棄物の分別徹底	同左
6	木くず	特になし	同左
7	金属くず	リサイクル向／産廃処分向の分別徹底	同左
8	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	リサイクル向／産廃処分向の分別徹底	同左

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度 令和 3 (2021) 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自社では再生利用を行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 自社では今後も再生利用を行う計画はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度 令和 3 (2021) 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	678.4 t	- t
(これまでに実施した取組) 自社設備により脱水・減容化し、産廃量の削減に努めた。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	752.8 t	- t
(今後実施する予定の取組) 自社設備での脱水・減容化を継続し、産廃量の削減に努める。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度 令和 3 (2021) 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自社で産業廃棄物の埋立処分 および 海洋投入処分を実施したことはない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 自社で産業廃棄物の埋立処分 および 海洋投入処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度 令和 3 (2021) 年度 実績】		
	別紙-3 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組)			

② 計画	【目標】		別紙-3 のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理 委託量	t	t
		認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	2,025.1	25.6	13.2	-	647.7	93.1	44.7	2.8
優良認定処理業者への処理委託量	2,025.1	25.6	13.2		501.1	5.3	0.2	0.7
再生利用業者への処理委託量	2,018.1	4.2			591.3	93.1	44.7	1.3
認定熱回収業者への処理委託量	7.0	21.4	13.2		56.3			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,086.2	4.2	13.2			5.3		
これまでに実施した取組	* 優良認定事業者への委託を優先すると共に、新規取引先の委託選定においては認定資格の有無を考慮している。 * 新規処分委託先の委託選定において、中間処理後の処分を再資源化を行う業者を選定している。							

② 計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	2,407.3	27.0	0.3	0.1	698.3	92.0	39.1	2.8
優良認定処理業者への処理委託量	2,318.7	22.6	0.3	0.1	537.1	5.3	0.1	0.7
再生利用業者への処理委託量	2,398.9	4.4	0.3	0.1	637.5	92.0	39.1	1.3
認定熱回収業者への処理委託量	8.4	22.6	0.3		60.7			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,291.1	4.4	0.3			5.3		
今後実施する予定の取組	上記「① 現状」『これまでに実施した取組』に記載した事項の継続							